

IV-2 干溝一本杉遊歩道

登り口は響きの森公園側、上原側、林泉庵側、干溝集落側等、いくつかの登り口があるが、多く利用されているのは響きの森公園側から登る①⇒②⇒③と頂上へ登るコースである。林泉庵の裏山に位置する一本杉山頂からは、魚野川を背にした市街を望むことができる。

響きの森公園から一本杉山頂へ、そして元の道に戻る、或いは上原側の登り口へ抜けて行く、或いは林泉庵の裏に降りてくるコースは、それぞれおおよそ1時間位である。



主な遊歩道ルート

- ① 響きの森公園側登り口から最初の分岐を右②・⑧へ行くコース
- ② ブナ林コース
- ③ 一本杉山頂まで
- ④ 上原の登り口コース
- ⑤ 新しく出来たコース(上原へ抜けるルートの途中と公園側登り口を繋ぐルート)
- ⑥ 一本杉山頂を少し下ったところから、ブナ林へつながるコース
- ⑦ ⑧林泉庵の裏山で回るコース



一本杉山頂

赤い点線部分がルート



コースは①⇒②⇒③⇒一本杉山頂
響きの森公園側登り口



最初の分岐を右へ



杉林からブナ林に変わる。
ここは林泉庵に行く道⑧と一本杉へ向かう②
との分岐点でもある



コース②のブナ林



ブナ林(コース②)を登っていくと、やがてブナ林が途切れ、道がコース③(右方面)とコース⑥(左方面)に分かれる分岐点である。ここを右に曲がり、一本杉へと向かう。コース⑥(以前からあった道だが、最近はあまり使われていなかった道)は魚沼交流ネットワークが最近整備した。



道の両脇に沿ってツツジが山頂まで多く自生している。



山頂の一本杉に到着。
大人の足で登り口からここまで約 30 分。



眼下に、魚沼市市街が見える。



上原の登り口に向かってコース④をくだる。



山頂から少し下ったところに、コース⑥に入る分岐点がある。近年、あまり使われていなかった道だが、魚沼交流ネットワークが整備したところ。



上原方面に下ると、見晴らしの良い場所が現れる。魚沼市街と湯之谷方面も良く見える場所である。ここには石仏もある。



更に下ると魚沼交流ネットワークが整備した新道⑤との分岐点に到着。



魚沼交流ネットワークが整備した新道⑤へ向かう分岐点の様子。



今回は上原方面の登り口に向かって下って行く。道の両脇にはイワカガミが多く自生している。



広神地区方面が遠方に見える。



上原側の一本杉登り口に到着。



今回のコースは①⇒⑤⇒④⇒⑥⇒⑦⇒⑧⇒
①コースを調査。



公園側登り口にある池を左に曲がり新道⑤へ
進む。



新道⑤登り口。
新道⑤は近年、魚沼交流ネットワークが整備し
たものである。



途中、植林された杉林がある。



杉林を抜けると低木の雑木林になる。



眼下に小出郷文化会館が見えてくる。



傾斜が急な所が数か所ある。



右手にあるスギの木の先にはコース④(一本杉山頂方面(右へ上り)、上原方面(左へ下り))との分岐点がある。



新道コース⑤からコース④へ入り、一本杉山頂を目指して上っていく。



途中、魚沼交流ネットワークが整備した新道コース⑥がある分岐点に到着。ここを新道⑥へ入る。



道中に石仏があり、この道が以前使われていたことがわかる。



ブナ林に到着。
ここを左に曲がり、約 10m 先にあるコース⑧へ進む。



10m 程歩いた所にある分岐を右折し、林泉庵
を目指しコース⑧に入る。
※この分岐点は注意しないと見落としてしまう
ので気をつける。



コース⑧に入ると整備された杉林がある。
所々に石仏もある。



ふもとまで下ると林泉庵の裏庭が見えてくる。



林泉庵の脇を抜けてコース⑧を目指す。



林泉庵の脇を抜けると大きな庭石が前方に見えてくる。この脇を抜け、コース⑧へ。



コース⑧の登り口には道標(干溝林泉庵のブナ林)があり、ここを登っていく。





緩やかな傾斜の杉林の中を登っていく。



ブナ林の入り口に到着(②と⑧の分岐点)



響きの森公園(登り口)に向かって下る。



眼下に登り口近くにある池が見えてくる。